

1 市民活動への新たな参加の促進			
市民活動団体実態調査	P2	「2. 団体の活動状況や課題について」 「団体を立ち上げる際に課題だったことは『活動参加者の確保』が53.2%で最も高く～」 「団体が活動を継続する上での課題（新型コロナウイルス感染症の影響前から）は『スタッフの増強』が45.9%で最も高く～」	
市民活動団体実態調査	P16	「F3 貴団体の活動を担っているのは主にどのような年齢層の人達ですか。」 「『60～70歳代が中心』が52.3%で最も高く、～」	
市民活動団体実態調査	P26	「問5 【コロナ前】貴団体が活動を継続する上での課題は何だと思えますか。新型コロナウイルス感染症の影響前から課題だった点をお答えください。」 「『スタッフの増強』が45.9%で最も高く、～」	
市民活動団体実態調査	P27	「活動開始時期別」の表の「スタッフの増強」の項目において、活動開始時期が古い団体ほど数値が高い傾向が読み取れる。	
2 市民活動に関する相談・コーディネート機能の充実			
市民活動団体実態調査	P4	「4.他団体との協働・連携状況について」 「今後武蔵野市との連携については、「考えている」が53.2%、「今後考えてみたい」が20.2%と7割台が希望しています。」 「市内市民活動団体との協働・連携を深めたいかについては、「考えている」が28.4%、「今後考えてみたい」が24.8%と、5割台が協働・連携を希望しており、特にコミュニティ協議会及びボラセン登録団体ではその割合が7割となっています。」	
市民活動団体実態調査	P59	「④貴団体では、今後、行政（武蔵野市）との協働・連携を深めたいと考えていますか。」 「『考えている』が53.2%で最も高く、次いで『現時点では考えていない』が22.9%、『今後考えてみたい』が20.2%となっています。」	
市民活動団体実態調査	P66	「⑧貴団体では今後、市内で活動する市民活動団体との協働・連携を深めたいと考えていますか。」 「『現時点では考えていない』が41.3%で最も高く、次いで『考えている』が28.4%、『今後考えてみたい』が24.8%となっています。」	
市民活動団体実態調査	P74	「問16 団体として、活動に対する相談等を通じて求めたいアドバイスや、受けたい講座はありますか。」 ⇒回答からは、「人材育成・組織運営」「資金確保」「情報発信」「活動場所」など様々なニーズがあることが伺える。	
第二期武蔵野市市民活動促進基本計画（案） （3月4日時点）	P13	「委員会の評価」 「ニーズをよりの確に把握し、講座内容や相談体制の充実に活かしていく工夫が必要である。」 「学びの場・機会の提供や相談対応については、団体ニーズのよりの確な把握や、市民活動団体や企業・大学等とも補完し合いながらの取組みも期待したい。」	
3 市民活動の主体の状況に応じた各種支援の充実			
市民活動団体実態調査	P26、27	「問5 【コロナ前】貴団体が活動を継続する上での課題は何だと思えますか。新型コロナウイルス感染症の影響前から課題だった点をお答えください。」 P27の団体区分別の表では、団体区分ごとに課題の回答差が大きい（最大の課題は、NPOでは資金確保、コミュニティ協議会、ボラセン登録団体ではスタッフの増強となっている）。	

市民活動団体実態調査	P74	「問16 団体として、活動に対する相談等を通じて求めたいアドバイスや、受けたい講座はありますか。」 ⇒回答からは、「人材育成・組織運営」「資金確保」「情報発信」「活動場所」など様々なニーズがあることが伺える。
市民活動団体実態調査	P3	「3.情報・ICT等の活用について」☑ 「ICT等の利用状況は、『コロナ禍で利用の幅を広げた』が38.5%、『コロナ前から今と同様に利用している』が23.9%と、全体の6割が利用している一方、市民活動団体及びボラセン登録団体では『利用していない』が4割台で最も高くなっています。」
市民活動団体実態調査	P47	「問11 ICT等の利用状況を教えてください。」 「『コロナ禍で利用の幅を広げた』が38.5%で最も高く、次いで『利用していない』が33.0%、『コロナ前から今と同様に利用している』が23.9%となっています。」

4 市民活動の拠点となる施設の機能充実

第二期武蔵野市市民活動促進基本計画（案） （3月4日時点）	P14	「委員会の評価」 「活動場所は屋内施設に限らず公園などの屋外スペースも考えられ、その利用方法・手続について、より分かりやすく情報提供を行ってほしい」
第二期武蔵野市市民活動促進基本計画（案） （3月4日時点）	P14	「委員会の評価」 「施設立地の課題を解消するため、施設同士の連携・協働によるアウトリーチ型の事業も企画されており、今後の展開が期待できる。」
市民活動団体実態調査	P73	「立地・交通アクセス」 ⇒利用しづらいとの意見が複数あり。
市民活動団体実態調査	P39~44	「問8 活動する上で、新型コロナウイルスの影響は出ていますか。」 「『イベントや行事が中止になった』が73.4%で最も高く、次いで『活動を休止している』が38.5%、『メンバー同士の話し合いの機会が持てない』が34.9%となっています。」
市民活動団体実態調査	P40~44	「問9 新型コロナウイルスによる影響を受けつつも、新たに取り組んでいることがあれば教えてください。また、行政に対して協力を求めたい事項があればご記載下さい。」 ⇒Wi-Fi環境についての複数の意見あり（「公共施設（コミセン）オンラインで活動できる環境を早急に整えてもらいたい」など）

5 連携・協働の推進

市民活動団体実態調査	P4	「4.他団体との協働・連携状況について」 「今後武蔵野市との連携については、（中略）具体的にどのような協働・連携を望むかは、『補助金・助成金の受給』が53.8%で最も高く、次いで『情報交換』が48.8%、『イベント等の共催』が46.3%となっています。」
市民活動団体実態調査	P66	「⑧貴団体では今後、市内で活動する市民活動団体との協働・連携を深めたいと考えていますか。」 「『現時点では考えていない』が41.3%で最も高く、次いで『考えている』が28.4%、『今後考えてみたい』が24.8%となっています。」
市民活動団体実態調査	P67	「実際にどのような協働・連携を行いたいですか。」 ⇒事業の共催・協働・連携のほか、情報交換・交流を希望する意見が多い。